



## ■ 石川県知事がまちなか鳳雛塾を視察！

5月4日、山野之義石川県知事がまちなか鳳雛塾を視察訪問されました。

今回の訪問は、能登の復旧・復興の現状を知り、現地関係者との意見交換を行う機会の一環として実施されたもので、魅力化スタッフや役場職員のほか、能登町長や副町長、教育長、県議会議員も同席しました。

当日は、プロジェクト発足の背景やこれまでの取り組みの説明に加え、プロジェクトの更なる発展を目指した今後のビジョンについて意見を交わしました。山野知事からは、「部活動の強化だけではなく、このような形で高校の魅力を高める手法もあると理解できた」とのお言葉をいただきました。

今回の訪問は、能登高校魅力化の取り組みを県知事へ直接発信できるとても貴重な機会となりました。昨年12月には松本文部科学大臣も視察訪問しており、高校や町が進めてきた取り組みに対して、関心や期待が高まっていることを改めて実感する機会にもなりました。能登高校魅力化プロジェクトの発足から10年、今後も能登高校の魅力を積極的に発信していけるよう、スタッフ一同取り組んでまいります。



## ■ 2026年度の総探が始まりました



4月15日(水)、能登高校で今年度初めての「総合的な探究の時間」（以下、総探）が始まりました！

初日のこの日は、フラフープを使った「ヘリウムリング」というチームアクティビティに挑戦しました。チーム全員が指先でフラフープを支え、指を離さずに床まで下ろしていくというワークです。一見簡単そうですが、実はチーム内でのこまめなコミュニケーションや、お互いの考えていることを言語化して共有することが欠かせません。

途中でフラフープを落としてしまうチームもありましたが、試行錯誤を繰り返しながら「どうすれば全員で同じ方向を目指せるか」を体感する貴重な時間となりました。

今年の総探のテーマは、「地域を良い状態(Well-being)にする」です！

今後は、生徒たちが自身の興味関心に合わせて、「地域社会ラボ」「人間科学ラボ」「地球環境ラボ」の3つのラボに分かれて活動します。

「ここをもっとこうしたい！」「これはなぜだろう？」といった、生徒一人ひとりの疑問や想いを出発点に、探究活動をさらに深めていきます。

能登高校魅力化プロジェクトのスタッフも、毎週の総探に実際に加わり、生徒たちの「こんなことをやってみたい！」という熱意を全力でサポートしていきます。



## 能登町ツアーを開催しました！

能登高校に県外から入学した、地域みらい留学生。早速、能登町での生活を楽しんでいます！4月26日、地域みらい留学生の能登町ツアーを開催しました。

まずは能登町特産の赤崎いちご摘み取り体験へ。柔らかい果肉と濃厚な甘みのいちごを思う存分楽しみ、参加者一同大満足でした！

体験を終えた後は、摘み取り園から歩いてすぐの赤崎海岸へ。透き通った穏やかな海を見て、留学生たちは大興奮でした。海辺にはヤドカリやウミウシ、飛び跳ねる大きな魚など様々な生き物がおり、生き物探しに熱中しました。

次に、能登町松波の松波酒造へ向かい、トレーラーハウス横に設置されたミニサッカーコートでサッカーを楽しみました。同行したコーディネーターも参加しましたが、高校生の底なしの体力に驚くばかりでした。

ツアーの最後は、自然体験施設ケロンの小さな村でのピザ作り体験！自分で作るピザの味は別格で、自然の中で最高のランチを食べることができました。この日、ケロンの小さな村ではクラシックコンサートも行われており、豊かな自然と音楽を楽しむ貴重な時間を過ごしました。

盛りだくさんの1日でしたが、能登ならではの食や里山・里海を存分に味わえた日となりました！



## 能登高生も音楽祭をお手伝い！



様々なボランティア活動に参加している能登高生たち。5月も積極的な姿が見られました！

5月16日は日本海倶楽部で開催された「だらぼち音楽祭」の運営ボランティアとして、7名の能登高生が参加しました。

入り口の受付、アーティストのラウンジやステージの案内、レストランの接客など、みんながそれぞれのポジションで、音楽祭のスムーズな運営に貢献しました。参加した能登高生は、「自分たちの想像よりも多くの来場者が来て、能登という土地の魅力をより多くの人々に伝えることができた」と話しており、その嬉しそうな顔が印象的でした。

音楽祭は大盛り上がりそのまま、無事に終幕。能登高生のみんな、本当にお疲れ様でした！

## RECOMMEND

まちなか鳳雛塾STAFF

### わたしのすきなもの

VOL.1 蔡本滋

今月から、スタッフのすきなもの、すきなことをこちらのコーナーでご紹介していきます。ちょっとでも興味がわいたら、スタッフに話しかけてみてくださいね。とっても喜びます。記念すべき初回は蔡がお送りします！



### 雨の日の心理学 こころのケアがはじまったら 東畑 開人 著

専門的なケアを学んだことがない私たちでも、晴れた日のような日常の中で、雨のように少し心がしんどくなる時はあるはず。自分や身近な人がそんな状態になったとき、どう向き合えばいいのかを分かりやすく教えてくれる一冊です！